

# CMI 株式会社

横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

## 中国の石油コークス市場の動向

2024年10月から、中国の石油コークスの価格は5カ月連続で上昇傾向にあった。2024年第4四半期、低硫黄分コークスの価格上昇率は45%、中・高硫黄分コークスの上昇率は30%を超えた。

表 1. 石油コークス価格の変化

製品別	価格 (元/トン)				2024年第4四半期の 上昇率(%)
	2024/9/30	2024/12/31	2025/1/27	2025/2/13	
低硫黄分 2#A	2,148	3,128	3,886	5,639	45.62%
中硫黄分 3#B	1,826	2,471	3,193	4,529	35.32%
高硫黄分 4#A	1,307	1,704	1,891	2,664	30.37%

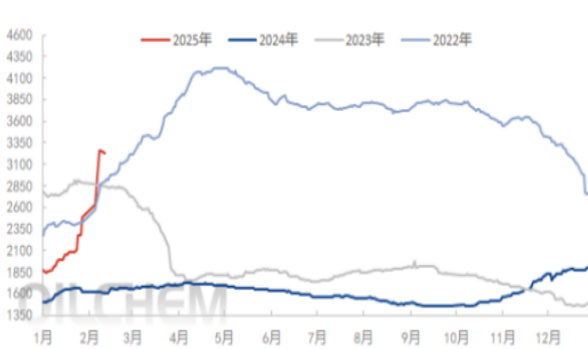
出典：隆衆資訊

注：石油コークスは硫黄含有量によって高硫黄分コークス（硫黄含有量が4%以上）、中硫黄分コークス（硫黄含有量が2%~4%）、低硫黄分コークス（硫黄含有量が2%以下）に分けられる。中国ディレードコークス品質標準（ZBE 44002-86）は石油コークスを1号、2号、3号、4号に分け、各号はそれぞれAとBの2種類に分ける。各種石油コークスの硫黄含有量は以下の通りである。

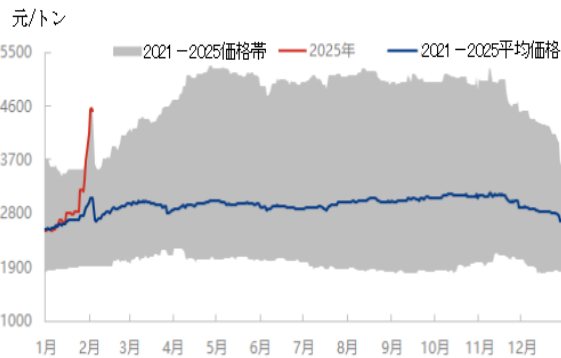
1#A：0.5%以下、1#B：0.8%以下、2#A：1.0%以下、2#B：1.5%以下

3#A：2.0%以下、3#B：3.0%以下、4#A：3%~5%、4#B：5%~7%

過去5年間を見ると、春節明けから、下流側の原料在庫の確保による需要増加のため、石油コークスの価格はいずれも上昇傾向であるように、春節直後の1週間の上昇率は2.6%~14.5%となっていた。2025年、需要の急速な回復と供給不足により春節後の1週間（2月8日~14日）、その価格上昇率は30%を超え、これまでの実績を上回った。



石油コークスの価格推移



過去5年間の石油コークスの価格推移

出典：隆衆資訊

図 1. 石油コークスの価格推移（2021~2025年）

# CMI 株式会社

横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

2024 年から、環境保全措置の強化に伴い、高硫黄分コークスの需要は徐々に減少し、低硫黄分コークスの需要は増加している。プリバーク陽極は石油コークス消費量の 57% を占め、消費量が最も多い分野である。負極材料の石油コークス消費量の割合が 4% に上昇し、低・中硫黄分コークスをメインとする。

2024 年、アルミ電解企業は質の高いプリバーク陽極の需要が高まった。顧客のニーズに合わせて、プリバーク陽極企業は石油コークスの製造に低硫黄分コークスの配合を増やした。

2024 年第 4 四半期以来、負極材料企業の稼働率が明らかに上昇し、負極材料の生産拡大が続いている。2024 年、負極材料の石油コークス消費量は約 200 万トンに達し、前年より約 80 万トン増加した。2025 年 1 月、負極材料生産量は 22.3 万トンで、前月より 4.58 万トン増加し、設備利用率は 79% に達した。

供給面では、2024 年、低硫黄分石油コークスの供給量は 509 万トンで、前年より 43.5 万トン減少した。そのうち、中国国内の生産量は 368 万トンで、前年より 8.5 万トン増加した。輸入量は 141 万トンで、前年より 52 万トン減少した。

下流側の原料調達次第に完了することに伴い、石油コークスの需給構造が緩やかに変化している。また、輸入業者は徐々に市場供給量を増加したため、2025 年 3 月から低硫黄分石油コークス価格が低下し始めた。

3 月 21 日現在の価格は表 2 の通りである。

表 2. 低硫黄分石油コークス価格の変化

企業別	価格 (元/トン)		
	3 月 1 日	3 月 21 日	増減幅
大港石化	5,650	4,500	-1,150
大慶石化	5,830	4,630	-1,200
撫順石化	6,000	4,800	-1,200
錦西石化	5,700	4,400	-1,300
錦州石化	5,700	4,400	-1,300
惠州石化	5,500	5,200	-300
安慶石化	5,970	5,370	-600

出典：隆衆資訊

情報源：隆衆資訊